

新年度スタート

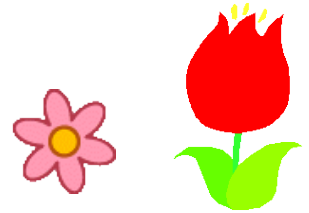
令和5年度が始まりました。子どもたちのためにみんなでがんばりましょう。教育研究所も教職員の皆様とともに野洲市の保育・教育のために尽力してまいります。

今年度の野洲市教育研究所の組織は、所長（学校教育課次長兼務）、副所長、研究員の3人で構成されています。この1年間、先生方にはお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひします。

今年度も、教育研究所では、確かな研究・実践に取り組み、その成果や有意義な情報を発信していきます。小中学校では、5年目スキルアップ研修でお世話になりますが、今年度は市内9校中、対象校が5校となっています。日程が許す限り、それ以外の学校でも校内研修や授業研究会などにも参加させていただき、少しでも先生方の研究の推進に寄与できればと考えています。お気軽に声をかけていただけましたら幸いです。

学級づくり「心理的安全性」学ぼう

3月13日付の日本教育新聞に表記のタイトルで、京都文教大学 大前暁政 准教授の記事が掲載されていたので、紹介します。



1年間の学級づくりを成功に導くために、新年度の準備で気をつけることは何でしょう。最も大切なことは、1年後のゴールを描くことです。1年後にどのような学級になっていればよいか、それを思い描くのです。しかし、ゴールを描くとすると、①学級経営の方法に関する最新情報、②子どもの実態に関する情報の2つが必要になります。

「学級経営の方法」は、時代と共に新しく更新されています。最新の概念に沿った方法が提案されているのです。例えば、「心理的安全性を確保する学級経営」の方法論が提案されています。私の新刊「心理的安全性と学級経営」（東洋館出版社 2023）でも具体的な方法を提案しました。

学級に心理的安全性が確保できれば、子どもたちはハイパフォーマンスを発揮できるようになります。また、高い目標に向かって挑戦するようになります。挑戦している仲間を温かく応援するようにもなります。日々の生活では、友達のためになる行動を行うようになります。子ども同士の関係性も深まっていきます。

このように、心理的安全性という概念を学び、それを学級経営に生かすという新しい方法が提案されているのです。新しい方法論を学ぶことで、前の年とは一味違った学級経営を行うことができるようになります。

もう一つは、「子どもの実態に関する情報」です。4月の出会いまでにできるだけ詳しく、子どもたち一人一人の情報を集めていきます。そして、まだ出会っていない子どもたちのこれまでの生活を思い描くのです。学力の低い子は自信を失っているかもしれません。スポーツを頑張っている子は、今年も何かに挑戦したいと思っているかもしれません。一人一人の様子をイメージしていくのです。

そして最終的に、「1年後の学級の姿」をゴールとして描いていくわけですが、ゴールを描くと、不思議なことが起きます。それは、目的を達成するための方法が「初めて見えてくる」のです。ゴールを描くからこそ、目的を達成する手段に気付けるようになるのです。

このとき、学級経営の方法に関する情報を集めていたことが役立ちます。最初はあまり関係のない情報だと思っていた方法が、実は非常に重要な方法だということに後から気付くことがあります。さらに、学級経営の方法の情報を基にして、新しい自分なりのアイデアを考え付くこともあります。

こうして、4月の学級経営の出会いから、さまざまな方法を取り入れながら充実した学級をつくっていけるというわけです。



令和5年度研修予定

今年度の研修については、下記のように予定しています。

○読書活動推進講座

4月25日(火)15:30~16:45 野洲市人権センター

野洲図書館の館長さん、研修担当の方から図書館が園や学校にできること、その活用術などを話していただきます。コロナの影響で4年間行われていりませんでした。今回復活の講座です。図書館のみなさんも意欲満々です。各校園1名の参加をお願いします。

○5年目スキルアップ研修オリエンテーション

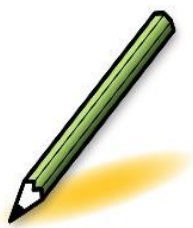
5月23日(火)15:00~16:50 野洲市人権センター

小中学校対象教職員の指導力(授業力)の向上をめざし、各学校でミドルリーダーとして活躍できるよう野洲市の教育を担える人材を育成する研修です。一年間の活動内容や日程等を理解していただきます。授業公開、モデル教諭の授業参観、研究授業(代表授業)・協議会、研究論文、研究報告等を一年間かけて行います。

○研究論文の書き方講座

6月2日(金)14:00~16:50 野洲市歴史民俗博物館(銅鐸博物館)

研究奨励事業の研究論文向けの講座です。5年目の先生方は、参加対象です。



昨年度、受講者より大変わかりやすいためになったと好評を得た講座です。今年度も県総合教育センター主管にご教授いただきます。

昨年度は、夏休みにこの講座を行いました。早い時期に研修を受講し、研究に取り組みたいという意見があり、この時期となっています。

研究奨励の研究論文応募締め切りの期日をそれに合わせ、昨年度より少し遅くします。**6月30日(金)**です。要項は、4月中にお届けします。

各校園の校内・園内研究において研究主題に応じた研究仮説をしっかりと設けることが大切です。研究仮説を実証するための保育・教育活動であることが研究です。**昨年度まで各校園で研究仮説を設けていない校園は、今年度より明示しましょう。**

研究主任の先生方、管理職の皆さん、都合がございましたら是非この講座にご参加ください。研究の進め方、まとめ方がよくわかります。

○夏季研修(選択)

7月21日(金)~8月25日(金)

NITS(独立行政法人教職員支援機構)と県総合教育センター及び各教育研究所の講座から現代の教育needs、各校・各教職員に必要とされるものを3つ受講してください。各校の実態に応じた内容や最新の知っておくべき教育知識をふまえて、校内研修や個別の研修に生かしてください。研修担当の方は、事前にNITSや県総合教育センターの講座内容を吟味し、校内研修を計画してください。

研修履歴を残していくのが令和6年度からとされていますが、令和5年度分に関してどうするか明言されていません。様式もまだ示されていません。遡って記録するよう次年度になって言われることもあり得るので、各校で履歴をしっかりとっておきましょう。

※就学前教育研修計画予定を次ページに載せています。

教育図書等のご案内



教育雑誌としまして、昨年度に引き続いて、「初等教育資料」「中等教育資料」を用意しています。また、今年度より「授業力&学級経営力」を用意します。いずれの月刊誌も教育研究所で自由に閲覧できます。また貸し出しを希望される場合は、貸出簿に必要事項を記入していただければお渡しできます。

「初等教育資料」「中等教育資料」及び「道徳教育」のバックナンバーも取り揃えています。ご活用ください。